

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	相談援助の基盤と専門職A (Professional basis of social work practice A)		
ナンバリングコード	E20922	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E042001	クラス名	2021以降学生用
担当教員名	古野 愛子		
履修上の注意、 履修条件	社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目です。 原則として、社会福祉援助技術演習Ⅰ受講者のみを対象とします。 聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え取り組むことを心がけてください。		
教科書	社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座6 『相談援助の基盤と専門職』 中央法規出版		
参考文献及び指定図書	社会福祉士養成講座編集委員会編 新・社会福祉士養成講座6 『相談援助の基盤と専門職』 中央法規出版		
関連科目	社会福祉原論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、地域福祉論、社会保障論など		

○基本情報		
授業の目的	「社会福祉士養成施設及び介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針について」により、社会福祉士国家試験受験資格を得るために、以下の内容を理解することが求められています。 ①社会福祉士の役割と意義について理解する。 ②精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 ③相談援助の概念と範囲について理解する。 ④相談援助の理念について理解する。	
授業の概要	社会福祉士に必要な知識・技術の習得を目指すために前提となる専門職としての「価値」につて、歴史的な背景などをもとに考察していきます。 また、地域社会の実情等についても理解を深めていきます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地域社会における課題・ニーズに対し、関心持つとともに地域での生活者の一人として意識することができる。		20点	
【知識・理解】	①社会福祉士の役割と意義②精神保健福祉士の役割と意義③相談援助の概念と範囲④相談援助の理念について理解している。	60点		
【技能・表現・コミュニケーション】	社会福祉分野における現状と課題等について説明することができる。		10点	
【思考・判断・創造】	社会福祉分野における現状と課題等について考察することができる。		10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
リアクションペーパー等の提出状況(学修に取り組む姿勢・意欲)及び内容(専門知識の活用等) [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックについて、希望者には次回以降にリアクションペーパー等の講評・解説を行います。	

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	相談援助の基盤と専門職A（Professional basis of social work） 古野 愛子	授業コード	E042001
学修内容				
1. 社会福祉の専門職とは？ 社会福祉分野における専門職の役割と実際、必要性・ニーズについてミクロ、メゾ、マクロの視点におけるソーシャルワーク、ジェネラリストの視点などを事例としてとりあげ理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉分野におけるニーズの具体的な例について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
2. 社会福祉士の役割と意義1-① 社会福祉士及び介護福祉士法の成り立ちについて、社会の変容等を踏まえながら、理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉士及び介護福祉士法制定時における社会的背景について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
3. 社会福祉士の役割と意義1-② 社会福祉士及び介護福祉士法における社会福祉士の定義、役割、責任、義務等について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉士及び介護福祉士法の目的と意義について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
4. 社会福祉士の役割と意義2-① 社会福祉士及び介護福祉士法の改正と専門職養成の目的について、社会的背景を踏まえながら理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉士及び介護福祉士法の改正時における社会的背景について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
5. 社会福祉士の役割と意義2-② 社会福祉士に求められる専門性について理解するとともに、精神保健福祉士の役割と意義、連携等についても理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	社会福祉士の目的と役割について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
6. 現代社会と地域生活1 少子高齢化社会の現状と課題について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	少子高齢化社会における現状について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
7. 現代社会と地域生活2-① 地域社会について「生活」という視点から、現状と課題について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	地域の抱えるニーズの具体的な例について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間
8. 現代社会と地域生活2-② 自らが生活の主体となって自分らしい生活・人生を送るために、ソーシャルワーカーに求められる役割とはどのようなものなのかについて、権利保障の観点から理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。				
予習	自立を支援するために必要となる視点について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成			約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	相談援助の基盤と専門職A (Professional basis of social work) 古野 愛子	授業コード	E042001
学修内容					
9. 相談援助の概念と範囲①					
ソーシャルワークの概念について、国際ソーシャルワーカー連盟等の定義を踏まえながら、理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	国際ソーシャルワーカー0連盟におけるソーシャルワークの定義について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
10. 相談援助の概念と範囲②					
ソーシャルワークの定義および範囲について、具体的な事例を参考に理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	ソーシャルワークの具体的な例について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
11. ソーシャルワークの構成要素					
ソーシャルワークを構成する要素(クライアントシステム、ニーズ、ソーシャルワーカー、ソーシャルワーク実践の根拠、社会資源等)について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	社会資源の種類について具体的な例を事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
12. ソーシャルワークの形成過程					
ソーシャルワークの形成過程について、17世紀前後から19世紀にかけての救済活動等を踏まえながら、理解を深めていきます。 ※レポートの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	ソーシャルワークの源流となった活動について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
13. ソーシャルワークの基礎確立期①					
ケースワークの確立と発展について、リッチモンドの貢献からフロイト系の診断主義、ランクの機能主義、さらには世界恐慌におけるニューディール政策等を踏まえて理解していきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	社会学的視点におけるケースワークと精神医学・心理学に基づくケースワークの違いについて事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
14. ソーシャルワークの基礎確立期②					
グループワーク、コミュニティ・オーガニゼーションの確立と発展について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	グループワークとコミュニティオーガニゼーションの目的と特徴について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
15. ソーシャルワークの発展、統合、批判、再編期					
基礎確立期を踏まえ、ジェネラリスト・ソーシャルワークの確立までの背景と変化について理解を深めていきます。 ※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。					
予習	ジェネラリスト・ソーシャルワークの役割と特徴について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、リアクションペーパーの作成				約2時間
16. 期末試験					
期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。					
予習					
復習					